


分野	31	地域活動・市民活動
施策	312	市民活動の活発化と協働の促進
5年後の目標	生活の充実につながる市民活動が活発化し、団体の活動や活動団体相互の協働がまちづくりの力になっている。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	市民参画協働推進事業		会計	款	項	目	1,181,781	自治振興室
			一般	2	1	19		
事業の概要								
市民活動団体への財政的支援や活動拠点の提供、幅広い市民の参画の促進、情報発信や啓発などを実施します。 また、計画的に施策を進めるため、計画の策定及び進行管理を行います。								


平成29年度の取組								
D (取組)	指標	—					単位	—
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32	
	—	目標	—	—	—	—	—	
		実績	—	—	—	—	—	
<ul style="list-style-type: none"> 市民参画協働政策研究会（協働ワーキング）による協働事例紹介「とつげき！となりの市民協働」を発行し、市民参画に対する情報発信を実施しました。 市職員の協働意識の向上に向け、職員研修や職員アンケートを行いました。 市民参画協働懇話会を2回実施し、市民協働のまちづくり推進プランの進行管理や市の施策などについて意見聴取しました。 市民活動団体に市民活動応援補助金を交付し、財政的支援をしました。また、活動発表会を、市民活動サポートセンター登録団体活動発表と共同開催しました。 パブリックコメント制度を活用し、市民の市政への参画を推進しました。 市民活動団体の継続的な活動を行ってもらうため市民活動オフィスフロアを運営しました。 						市民活動応援補助金活動発表会		
								

施策の「5年後の目標」に対する評価				
平成29年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		—	—	—
C (評価)	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	<ul style="list-style-type: none"> 市民参画協働懇話会で、市民協働のまちづくり推進プランの進行管理や市民活動応援補助金等の市の施策などについて委員からの意見を取り入れることができました。 市民活動応援補助金を7件(828,000円)交付し、市民活動団体に財政的支援をしました。また、活動発表会を、市民活動サポートセンター登録団体活動発表と共同開催し活動成果を共有しました。 パブリックコメント制度を活用し、8件の案件について市民からの意見を募り、一部意見を反映しました。 市民活動オフィスフロアは5団体6ブース(6~10月は6団体7ブース)の利用がありました。 平成28年度から進行管理をしている「市民協働のまちづくり推進プラン」の達成率(評価点の合計/評価点の満点)が、平成29年度は60.8%となり、平成28年度の58.9%を上回りました。 	達成状況
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動団体の財政的自立に寄与する市民活動応援補助金制度を再構築する必要があります。 市民や市職員の協働に対する関心度を高めていく必要があります。 		

目標達成に向けての次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動団体の自発的な取組を支援するため、市民活動応援補助金制度の見直しを図ります。 引き続き、市民協働のまちづくり推進プランに基づいた施策の研究、実施を図るとともに進行管理手法についても検討します。

分野	31	地域活動・市民活動
施策	312	市民活動の活発化と協働の促進
5年後の目標	生活の充実につながる市民活動が活発化し、団体の活動や活動団体相互の協働がまちづくりの力になっている。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	市民活動サポートセンター 管理運営事業		会計	款	項	目	9,163,376	自治振興室
			一般	2	1	14		
事業の概要								
市内のNPO法人などの市民活動団体の広がりや、ステップアップ、団体と多様な主体との連携を促進するため、市民活動サポートセンターを中間的な支援機能を担う拠点として、指定管理者制度を活用し、民間のノウハウを持つ団体が、市民への紹介、団体同士及び団体と市民のネットワークづくりの支援、新規に活動をしたいと考える市民に対する相談及びアドバイスを行います。								

平成29年度の取組							
D (取組)	指標	ネットワークに関する延べ相談件数				単位	件
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
	51(平成26年度)	目標	57	60	63	66	70
		実績	57	40			
<ul style="list-style-type: none"> 市民活動サポートセンターの管理運営を指定管理者制度のもと、市民活動ネット・チーム長岡京を指定管理者として、①市内で活躍する登録団体の活動を市民に紹介し、団体同士や団体と市民のネットワークづくりの支援②センターや協働を市民に知ってもらうための各種事業の実施③活動している団体や活動をしたいと考える市民に対する相談及びアドバイスの実施④登録団体のスキルアップのための研修会の実施などを行いました。 ホームページ、フェイスブック、広報誌「サポセン通信」等により、市民活動サポートセンターを周知しました。 市民活動サポートセンター職員を対象とし、中間支援組織としての資質向上のための研修や視察を行いました。 					市民活動サポートセンター		
							

施策の「5年後の目標」に対する評価				
平成29年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
	達成度合	市民活動サポートセンター登録団体数	市民活動サポートセンターの周知や市民活動の広がりとともに登録団体数は増加傾向です。	200
	課題等	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	<ul style="list-style-type: none"> 登録団体数(施設利用ができる団体数)は、平成28年度の141件から163件に増加しています。 団体支援につながるネットワークに関する相談件数は目標を達成できませんでしたが、研修や他の中間支援組織への視察等を通してスタッフのスキルアップに努めたことにより、中間支援組織としての機能は向上してきているといえます。 利用者数については、ミーティングルームの利用者数が平成28年度の7,749人から8,795人に増加しています。(イベント・事業への参加者・来場者は含めていません)。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 市民活動に興味のある市民の方や活動している団体に対して、市民活動サポートセンターの中間支援組織としての役割を周知する必要があります。 引き続き、中間支援組織として、行政、企業、NPO、支援者等をつなげる仲介的な機能も担い、また市民活動団体の運営に寄り添いながら、組織の基盤整備や支援を担うための専門性が求められます。 		

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	方向性
	1: 計画通りに進めることが適当
	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動サポートセンターの中間支援組織としての役割を周知するための啓発事業を実施します。 引き続き、市民活動に対する課題に的確に助言できる中間支援機能を高めます。

分野	31	地域活動・市民活動
施策	312	市民活動の活発化と協働の促進
5年後の目標	生活の充実につながる市民活動が活発化し、団体の活動や活動団体相互の協働がまちづくりの力になっている。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	多世代交流ふれあいセンター 管理運営事業		会計	款	項	目	71,472,873	多世代交流ふれあいセンター
			一般	2	1	20		
事業の概要								
市西部の地域活動・市民活動を支える拠点として、また世代を超えた市民の幅広い交流を促進し、市民活動、男女共同参画、地域福祉、健康づくり及び生涯学習に寄与する場の提供、充実を図ります。								

平成29年度の取組							
D (取組)	指標	多世代交流ふれあいセンター利用者数				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
	32,387 (平成26年度)	目標	34,500	35,500	36,500	37,500	38,500
		実績	41,246	38,725			
	指標	多世代交流ふれあいセンター利用登録団体数(生涯学習・市民活動オフィス・男女共同参画・健康福祉のフロア計)				単位	団体
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
	141 (平成26年度)	目標	149	154	158	163	168
		実績	151	142			
	・利用者増を目標に、平成29年4月から月曜開館(祝日以外)を本格実施しました。					交流室での活動の様子	
							

施策の「5年後の目標」に対する評価				
平成29年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
			—	—
C (評価)	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況	・「生涯学習フロア」の利用者数は、28,447人、また、すべてのフロアまで加えたセンター全体の利用者数は、38,725人となり、年度目標を達成しました。なお、利用登録団体数については、新規登録が8団体(生涯学習フロア6団体、市民活動オフィスフロア1団体、男女共同参画フロア1団体)ありましたが、未更新及び廃止が17団体(生涯学習フロア12団体、市民活動オフィスフロア1団体、男女共同参画フロア3団体、健康福祉フロア1団体)あったため減となっています。
	課題等	・利用者が増加することは望ましいことではありますが、立地的な面から自家用車での利用者が多く、曜日によっては駐車場が混雑する傾向がある為、車両事故や周辺からの苦情等が無いよう、適切な施設維持管理方法をとる必要があります。また、施設各場所のバリアフリー化についても従来からの課題となっています。		

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	方向性
	1: 計画通りに進めることが適当
対応策等	
・駐車場問題については、隣接する西山公園体育館と駐車場の相互利用についても検討・調整します。また、駐車場整備やエレベーター設置、段差・勾配解消等のバリアフリー化について、今後も引き続き検討します。	